



# 火の柱

## Friends of Jesus 2024年6月第739号

### イエスの友五綱領

- ①イエスにありて敬虔なること
- ②貧しき者の友となりて労働を愛すること
- ③世界平和のため努力すること
- ④純潔なる生活を貴ぶこと
- ⑤社会奉仕を旨とすること

イエスの友会は、上の五綱領を、生き方の基盤としているキリスト者と賛同者の群れです。(結成1921年10月5日)

テーマ「実に神の国はあなた方の間にあるのだ」ルカ17:21 1p「思いやりのひと言と祈り」東海林昭雄 2P「金沢に於けるキリシタンの歩み」長谷川勝義  
3p「ようこそ金沢の夏期聖修会へ」岩城輝雄、「夏期聖修会にあたり」藤本喜代枝 4p「第9回夏期聖修会」高島史弘「会計報告」小野島正彰

### 思いやりのひと言と祈り

イエスの友会書記 東海林昭雄



「言葉」は「言霊」とも言われています。人を生かすのも殺すのも言葉です。言葉には力があります。四十数年前、私が出版社勤務をしていた時代の同僚の栗栖ひろみさんは作家でもありますが、三年前に彼女が著しました『地の塩世の光として』（一粒社刊）を贈ってくれました。サブタイトルが「賤い愛に生きた賀川豊彦の生涯」となっており、賀川の生い立ちから帰天に至るまで分かりやすい表現で記された好著です。栗栖さんは、前書きでこのようなことを記しています。

現代の日本社会で、賀川豊彦といえは「生活協同組合の生みの親」ということくらいしか知られていないのを、とても残念に思います。私がこの驚くべき人物と初めて出会ったのは、まだライターとして駆け出しの頃、某出版社の依頼で、小学校上級生から中学生までを対象にする「偉人伝シリーズ」を書いた時でした。資料を調べて驚嘆しました。彼はキリスト教を土台とした社会改革を志し、どん底に喘ぐスラムの人たちのためにセツルメント（隣保事業）を興し、最下層の者を助けるために消費組合、購買組合、医療組合を作り、農村を再生させ、災害時においては救援活動のために身を

粉にして働き続けたのです。・・・かつて彼は日本が戦争を始めた時、投獄されて反対し続けました。・・・そして日本が敗戦を迎えた時、賀川は当時の首相の相談を受けて「国民総ざんげ運動」というものを日本全国に展開しましょう」と、提案したのです。そして過去の過ちを反省し、日本が平和国家として歩むよう民衆を導いたので。・・・賀川豊彦は、まさに混迷する日本社会の道標です。万人の胸に希望の光をともしつつ、生き続けるであろうことを確信してやみません。

た。貧しさゆえに、あるいは事情があつて育てられない人たちが一類の望みを託してお金を渡して赤子を預けるのです。が、殆どの子どもたちは餓死させられてしまったと言われています。そのような状況の中、貰い子殺しのばあさんが逮捕されたとの話を聞きつけ、警察に駆け付けた賀川は保護された女の赤ちゃんをもらい受け看病するのですが、その子は亡くなつてしまいました。その子の手のひらには石ころが握られており、賀川は無名の子に「おいし」という名を付け、短い生涯彼女が得た玩具は、この一つの石ころでしかなかったことを思いつつ、切々と賀川は謳うのでした。当時賀川が関わった子どもたちは、男の子はやくざの道、女の子は遊郭などに売られてしまふという時代背景があつたようですが、現代社会自身もまた病んでいるのではないかと思える現実があります。

イエスの友会のテーマともいえる、「貧しき者の友となる」ということを生涯において実践した人物であつたことを的確に記しています。またカオス状態の現代にあつて賀川が道標を遺したことも確かなことです。賀川に大きな希望の光を与えたのが、徳島中学時代に出会つた宣教師であつたローガン博士とマヤス博士でした。複雑な生い立ちと家庭環境の中苦しみ、暗い表情の賀川に対して、マヤス博士はこう語り掛けました。「ワタシハ 毎日アナタノタメニ 祈つています。希望、デ心ガイッパイニナルヨウニ 神様に祈ッテマス。アナタノ顔方明ルクナルノヲ見ルト、トテモ嬉シイノデスヨ。デモ、今朝ノアナタハ、トテモ悲シソウに見エマス。ドウシテデスカ？ モシ、悲シイコトヤ、辛いコトガアツたら イエス様ノ前でワタシト 半分ズツケ アイマセンカ。豊彦さん」と励ましたそうです。

賀川は『涙の二等分』という詩を遺しました。賀川が活動した青年時代、貰い子殺しを生業としていた人々がおりまし



す。賀川の遺した道標をもう一度見つめたいものです。

# 金沢における

## キリシタンの歩み

副会長

長谷川勝義



金沢など北陸は、親鸞などにより、浄土真宗（一向宗）が大変盛んな地であった。支配者たちは、度重なる一向一揆に大変手こずったものである。

この地域、特に金沢や能登半島を支配地としたのは、加賀百万石として有名な前田利家であり、二代目前田利長と続き、明治維新まで前田家は代々続いた。

前田利家は、高山右近が秀吉のキリシタン禁教令に従わず、領地を取り上げられた後、彼を加賀藩に迎え入れ、客将として暖かくもてなした。右近は、この加賀藩に領地を与えられ、その後、徳川幕府による禁教令によって、ルソン（今のフィリピン）に追放されるまでの26年間、金沢や能登半島（現在では志賀町、高山右近



七尾市のあたり）に領地を与えられて過ごしたのである。この間、前田家のため、城づくりにや様々な土木工事に励み、また、文化の面でも茶道や能にも堪能しており、その普及に大きな貢献を成した。

公けには活動できなかったが、キリシタンの教えをこの地でもあきらめることなく伝え、加賀藩の武士や昔からの家来、その家族等に普及する努力を続けた。

この地には、高山右近の他にも、八木城主でキリシタンであった内藤ジョアンも招かれており、その他のキリシタンも多かった。利家の娘であった、豪姫は、秀吉の養女となつて、宇喜多秀家に嫁いだが、秀家が関ヶ原の合戦で西側に付き、敗れて、八丈島に島流しになった際に、加賀藩に戻つており、彼女も高山右近などの影響を受け、キリシタンとなつていた。このよう



胸が開くと十字架が



本行寺 高山右近短剣



志賀町 高山右近の墓

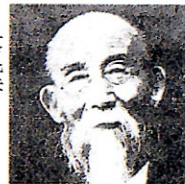
宗の寺だが、隠れキリシタン寺ともいわれ、ゼウス塔とか、右近のキリシタン修道所跡、胸の部分を開けると十字架の見

える仏像や、右近の書簡とか短刀など貴重なものを見る事が出来る。

江戸幕府の徹底したキリシタン禁教令により、1614年、右近や内藤ジョアンなど148名にも及ぶキリシタンがマカオやルソンへ追放された。これによって日本に於けるキリシタンの活動は途絶えていったが、おそらく隠れキリシタンの活動は密やかに禁教令が明治になって解かれるまで、続いてきたに違いない。

高山右近などの活躍から約250年、明治となつて、北陸の地にまた、キリスト教が目覚める時となった。アメリカから長老派の宣教師トマス・ウインが北陸の地、金沢で宣教を開始した。公立の学校で英語を教える傍ら、キリスト教を伝えたのである。

1858年に外国との修好条約が結ばれ、1865年に長崎に外国居留民の為に大浦天主堂ができた。長崎の浦上付近にいた隠れキリシタンたちが大浦天主堂に現れ、自分たちはあなたたちと同じキリシタンだと表明した。このニュースはたちまち世界中に伝えられ、大喜びをもって迎えられたが、明治政府はあくまでキリスト教は江戸幕府以来厳しく禁じられておるとの立場を変えず、長崎浦上のキリシタンたちは捕らえられ、4千人近い人々が各地の藩に預けられることになった。この金沢にも500余名のキリシタンが預けられた。彼らは、郊外の卯辰山の藩の施設に収容され、改宗を迫られた。はよりの病等で子どもを含め大勢が亡くなった。それでもキリシタンたちは、教えを捨てず、互いに励まし合いながら暮らした。そうした彼らの暮らしぶりを見て、感心したのが加賀藩の家老で



長尾巻

と共に金沢や北陸地域の教会活動の中心人物となつていった。

長尾巻は、一向宗の盛んな北陸の地で最初の伝道を始めたが、それに対する迫害はすざましいものであった。彼も彼の家族も幾多の迫害を乗り越えながら、伝道した。そのかいあつて成果は徐々に始まる。次第に理解されるようになったのである。彼は、その後、愛知県豊橋や岐阜、名古屋、埼玉で生涯、伝道に励んだ。特に、豊橋では、明治学院の神学生であった賀川豊彦が長尾巻のもとを訪れ、しばらく長尾巻の教会に泊めてもらいながら生活をし、長尾巻から大きな影響を受けた。長尾巻は、子どくさんで生活はいつも貧しかったが、信仰と生活は一致して、家族ぐるみの信仰・伝道を中心掛けた。貧しい人がいると、家に招き、その時だけは白米のご飯を炊き、もてなした。子供たちは、普段は芋や麦飯しか食べられないのに、そういう時には



白米のご飯が食べられてうれしかったという。

賀川豊彦が豊橋の夜店が出る札木通りで40日間路傍伝道を続け、血を吐いて倒れたが、奇跡的に回復し、神戸のスラム街での献身を決意したのも、長尾巻の生活や豊橋でのこうした経験があったからである。

夏期聖修会が、この金沢の地で初めて開かれることになったのは、この地がキリスト教と歴史的に深く関わっているということである。能登の地では、不幸にも地震や津波による大きな被害を受け、その災害の影響は今もなお、重く続いているが、そういう災害にも負けずに打ち勝つためにも、私たちは立ち上がっていかねばならない。困難な中にあってもキリストの教えに忠実に生き抜いた高山右近、トマス・ウイン、長尾八之門、長尾巻等の生きざまについて学べるよい機会となるよう祈りたいと思う。

### ようこそ 金沢の夏期聖修会へ

岩城輝雄



金沢市で開催できることを感謝して

ます。藤本姉と現地に居る者として出来ることを準備しています。その中で何の為にと考えることがあり

ます。自分の為か、神の為かと。いつまでも自己中心な生き方を抜けない私で反省します。

夏期聖修会に初めて参加した時、今井寿牧師が、榎本保郎牧師が病気で倒れたと報告し、祈ってほしいとアピールされました。榎本牧師が召された次の年の年頭アシユラムに命をかけたものが知りたくて初めて参加できました。私にとってイエスの友会聖修会とアシユラム集会は神と人に出会える大切な集会となっております。

今回準備をする中で、いくつか「つながり」ができ、また、「テーマ」が与えられました。「テーマ」を簡潔書きすると、「純潔」「北陸のキリスト教」「高山右近とキリストン」「アシユラム」「北陸学院と資料室」「能登ヘルプ(災害ボランティア)」「路傍伝道」など、他にも知らなかったこと、教えられたことがあります。

二日目は、午後、キリスト教関係のツアーがあり、兼六園観光も一つです。三人の講師の講演などにはどなたでも出席して下さいればとても嬉しいのです。遠方から来られる方は恵まれる旅となりますようにお祈りいたします。

### イエスの友会夏期聖修会にあたり

藤本喜代枝

7月22日、23日、24日に金沢にて聖修会開催となりました。そのために羽咋の岩城輝雄さんと共に下準備をさせて頂きました。北陸学院の梅染信夫先生による講演「北陸のキリスト教」特にウイン宣教師のお働きについてお話しくださいます。ウイン先生ご家族は船で金石港にたどり着きましたが、波が高くアメリカ

から持ってきたものをすべて海中に投げましたが、小さなお子さんはスヤスヤ眠っていたそうです。金石港には、やっとたどり着いた所に記念碑があります。ウイン先生は金沢教会で説教中召天されました。金沢野田山には先生のお墓があります。

賀川豊彦先生の恩師、長尾巻牧師は殿町教会の初代の牧師です。先生が毎朝抜けた髭でもって毛筆を作りました。その毛筆で詩編のみ言葉が書かれ、今も殿町教会の部屋に飾ってあります。1891年(明治24年)金沢教会が雪害のため倒壊しました。当時の人々は「アーメン堂つぶれた、アーメンどう、面どう!と」

その教会堂は立派に献堂され、現在は若草教会に移転されている。ツアーも計画され、北陸学院の中島先生がガイドのご奉仕くださいます。どうぞ、聖修会にお越しくださるよう心よりお待ち申し上げます。

### 2024年度 第99回 夏期聖修会スケジュール

テーマ 綱領 『純潔なる生活を尊ぶこと』

聖書…ローマ12:1-13:10というわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。

日時…2024年7月22日(月)〜24日(水)



会場…石川県青少年総合研修センター 〒920-0834 石川県金沢市常磐町212の1  
TEL 076-252-0666



7月22日(月) 第1日目  
13:00 受付開始  
14:00 開会礼拝(大研修室) 奨励…東海林昭雄 司会…小野島正彰  
15:30 講演 山形實 『高山右近に息吹か』

17:30〜18:30 夕食 卓主…事務局依頼・参加者より一言  
19:00〜20:30 講演 榎本恵 『賀川豊彦とアシユラム』 司会 岩城輝雄



7月23日(火) 第2日目  
 6:30~7:45 早天祈祷会 奨励・司会:榎本恵  
 8:00~9:00 朝食 卓主:事務局依頼 参加者より一言  
 部屋の荷物の片づけ移動  
 9:00 移動 車・タクシーに分乗 北陸学院資料室へ  
 9:30~11:00 梅染信夫さん講演



「北陸のキリスト教のはじめ」

司会:大野剛

資料室見学 昼食

12:00~12:30 兼六園見学

12:30~13:00 カトリック金沢教会見学

13:30~14:00 日本基督教団金沢教会見学(牧師の案内・説明)

14:00~16:00 高山右近ゆかりのコース見学(変更の可能性あり)

① 右近屋敷跡(県美術館周辺)

② 金沢城石川門(高山右近作)

③ キリシタン寺跡 この辺で休憩(ホテル山楽等)

④ 豪姫屋敷跡(前田利家四女 秀吉養女後に宇喜多秀家の正室離婚後前田家に帰り、右近によりキリシタンとなる) ⑤ 伴天連屋敷跡 ⑥ 尾山神社(前田利家を祀った神社)

卯辰山 長崎キリシタン殉教地



16:00 タクシー分乗 卯辰山 長崎キリシタン殉教碑見学  
 16:30 研修センターへ帰る。徒歩または車  
 17:30~18:30 夕食 卓主:事務局依頼 参加者より一言  
 19:00~20:30 賛美と証の時 司会 菅野直基 チャリティ  
 特別ゲスト:能登震災ボランティア LOVE EASTの方々など 賛美と証  
 20:30~21:30 イエスの友会中  
 央委員会(大会) 司会:事務局

7月24日(水) 第3日目  
 7:00~7:40 早天集会 奨励:金子信一 司会:事務局依頼  
 8:00~9:00 朝食 卓主:事務局依頼 参加者より一言  
 部屋の荷物の片づけ移動  
 10:00~11:20 イエスの友会大会(続き)・活動報告会  
 司会:事務局  
 11:30~12:00 閉会礼拝 奨励:長谷川勝義 司会:事務局  
 12:00~13:00 昼食 片付け・解散

13:30~14:00 オプション金沢駅前路傍伝道(有志能登ヘルプに震災義援金を届ける(有志)  
 震災支援献金先:能登ヘルプと能登震災ボランティア LOVE EASTへ  
 ・参加費 全参加2万円(登録費三千元+宿泊費+食費)+現地にてタクシー代実費)  
 ・申込み締切日 7月7日 申込は、参加費の振込をもって申込とする。

・交通アクセス 金沢駅からの現地までの送迎バスあり 行きは、午後1時に金沢駅構内西口のセブイレブン前に集合すること。

時間が合わない人は、駅東口タクシーで15分。循環バスは92.93番線の鈴見台2丁目経由バスで鈴見台一丁目下車徒歩7分等です。  
 帰りは、午後1時に研修センター出発 予定

【二〇二四年度会計報告】

二〇二四年三月以降二〇二四年五月迄の状況  
 ◎維持費(一万二千元)三名(勢喜光、長谷川衛、吉本真理)  
 ◎会費(三千元)九名(足立克己、渡邊和郎、勢喜光、李善恵、長谷川衛、吉本真理、田島章義、松原辰宣、柳原健兒)  
 ◎購読料(千五百円)二名(渡辺和郎、田島章義)  
 ◆会費納入と献金のお願い◆  
 尊い献金と会費等でイエスの友会の活動をお支え下さり、イエス様にあつて感謝いたします。  
 ▽たくさんの方から会費や献金をいただきました。感謝します。引き続き、各事業活動の費用のための会費や献金をお願いいたします。  
 会費、献金、維持費、購読料等の振込先は、次のとおりです。  
 ▼郵便振替口座 「〇〇一七〇一七四九五八六」  
 加入者名 「イエスの友会本部」  
 いつもご支援を心から感謝申し上げます。(会計担当 小野島正彰)

「火の柱」 第739号

発行人 鈴木武仁  
 発行所 イエスの友会本部  
 発行日 2024年6月15日  
 本部事務局 441-8016 愛知県豊橋市弥生町西豊和4-7  
 高島史弘(イエスの友会 事務局長)  
 携帯 090-9994915190メール  
 takashima\_h33@japan.ama1.ne.jp  
 郵便振替加金名 イエスの友会本部  
 口座番号 001701749586  
 火の柱編集 長谷川勝義  
 火の柱原稿メール先 b1w05y8@j.comuifa.jp  
 〒440-0026 愛知県豊橋市多米西町2-20112 電話・FAX 0532-614822